



北京の路地  
中国ロック  
青春群像

# 北京バスターズ

## 北京

## 雑種

俺は風に向かって  
進むだけ!

そこには中国のメタの風が吹いていた。

監督 ■ 中国新世代映像の旗手  
張元 (チャン・ユエン)  
主演 ■ 中国ロックの雄  
崔健 (ツイ・ジェン)

'93ロカル/映画祭  
'93東京国際映画祭  
'93バンクーバー映画祭  
'93ロンドン映画祭  
'94福岡アジア映画祭 出品

製作 ■ 張元 [チャン・ユエン]  
崔健 [ツイ・ジェン]  
舒琪 [シュウ・ケイ]  
社 可風 [クリストファー・ドイル]  
監督 ■ 張元 [チャン・ユエン]  
脚本 ■ 張元 [チャン・ユエン]  
崔健 [ツイ・ジェン]  
唐大年 [タン・ダーニエン]  
撮影 ■ 張健 [チャン・ジェン]  
映像顧問 ■ 社 可風 [クリストファー・ドイル]  
編集 ■ 馮雙元 [フォン・シュエンユエン]  
美術 ■ 劉暎東 [リウ・シャオトン]  
録音 ■ 武啦啦 [ウー・ララ]  
音楽 ■ 崔健 [ツイ・ジェン]  
竇唯 [ドウ・ウェイ]  
何勇 [ハー・ヨン]  
出演 ■ 崔健 [ツイ・ジェン]  
唐大年 [タン・ダーニエン]  
季委 [リー・ウェイ]  
武啦啦 [ウー・ララ]

援助 ■ ロッテルダム映画祭ヒューバート・バルス基金  
フランス政府 [文部省・文化省・外務省]

# 北京バスターズ / 北京雑種

## ◆中国に新世代映画誕生◆

中国映画界に「新世代」の映画と呼ぶにふさわしい作品が登場した。いわゆる「中国第五世代」映画は、全世界で注目され、その映像表現の豊かさが圧倒的支持を受けて来た。しかし、陳凱歌(チェン・カイコー)・張藝謀(チャン・イーモー)・田壮壮(ティエン・チュアンチュアン)ら新しい感覚を持った第五世代に属す監督たちの作品でさえ、国家の規制・介入を余儀なくされてきた。

そうした中、真の意味で新しい中国映画が誕生しようとしている。張元(チャン・ユエン)監督の長編第二作『北京バスターズ』は、既存の中国映画システムから独立し自主製作された。国家の製作許可を受けずに撮影所システムの外に飛び出し、ゲリラ的に即興で撮影された方法はフランスのヌーヴェルヴァーグを彷彿とさせる。同時に、今までの中国映画では語ることが少なかった、北京の下町に暮らす〈現在〉の若者たちの姿を赤裸々に描いている。

## ◆全編に流れる中国ロック◆

本作品は、また「中国初のロック映画」として位置づけることができるかもしれない。この映画の中でロックの占める位置は大きい。ロックスターを演じるのは、実際に中国ロックシーンの草分けで、更なる飛躍を目指す崔健(ツイェン)。彼は出演に止まらず、製作や脚本にも携わっている。また、竇唯(ドウ・ウェイ)も登場、何勇(ハー・ヨン)の曲も聞ける。世界中のロックの歴史が一気に流れ込んでいる中国に、今まさに全世界が注目している。この混沌とした中国ロックの空気を丸ごと吸い込んだかのような『北京バスターズ』。ロック映画はあまたあれど、今最も熱い中国は要注目だ。

## 〈劇中の中国ロック〉

崔健▶ナイフのように(東芝EMI「解決」)  
寛容/最後のうらみ/北京の物語  
(以上、東芝EMI「ボールズ・アンダー・ザ・レッド・フラッグ」)

竇唯▶黒夢の中で/服従(以上、Pヴァイン「黒夢」)  
何勇▶鐘鼓樓(Pヴァイン「ゴミ溜め」)

## ◆各界から製作に結集◆

製作には張元と崔健の他に、舒琪(シュウ・ケイ)と杜可風(クリストファー・ドイル)が共同出資している。舒琪は香港の映画監督兼プロデューサー。86年に舒琪が『ソウル』を監督した際に撮影を担当したのが、杜可風。(他に『欲望の翼』など)張元が崔健のビデオ・クリップを監督した際に、撮影を担当したことで張らと結び付く。

撮影には約1年を要し、ほとんど北京にて行われた。この間、警察の介入と資金不足の為、しばしば撮影の中断を余儀なくされている。編集作業はフランス文化省の助成金をもとに行われ、93年6月パリに於いて完成した。しかし、自主製作という立場を認めない中国国内では、未だに上映が禁止されている。

## 【あらすじ】

主人公カーズは質素なミュージック・バーを経営する青年。彼の恋人、マオマオは身籠っていたが、カーズは彼女に墮胎を強いり、マオマオは消えてゆく。

一方、中国最大のロック・スター、崔健(自身役)とそのバンドは、公共の場でのコンサート開催の要請を当局によりことごとく拒否されていた。稽古場として使用していた部屋も一方的に追い出され、彼らは新しい稽古場を捜し続けている。



失業中の作家ダーチンは、詐欺師に全財産を奪われた友人の画家くイエローをなんとか助けようとしていた。犯人を見つけだすために30円でテンピラを雇おうとするが、三人は酒場で喧嘩になり話しは物別れに終わる。

カーズはいたずらにマオマオの行方を捜し回っていた。彼は欲求の掃け口を求めて、彼のバーで働く若い女性と強引に関係する。麻薬に溺れ、カーズの不満は増々募り、マオマオが流産をする幻想を抱くようになる。次第に、荒れた生活を送るようになるカーズ。

彼らは、一体どこに向かおうとしているのか……。

「彼らの姿を正しく伝えてゆきたかったから、登場人物たちの実生活に基づいて映画は撮影された。人々の本当の姿を描こうと思ったら中国映画を支配するスタイルやイデオロギーの束縛から解放されなければならず、自由で融通の効いた手段を取らなくてはならない。」——監督・張元

## 【監督●/張元(チャン・ユエン)プロフィール】



1963年南京郊外に生まれる。北京電影学院を89年に卒業。八一電影撮影所に配属されるが、撮影所のシステムに反発し、自主製作の映画作家としての道を歩み出す。長編処女作『媽媽』(ママ)を90年に監督。

一方で張元はビデオ・クリップの監督としても活躍中。崔健・艾敬(アイ・ジン)・シンディー・ローパーらの曲を手掛けている。

『北京バスターズ』は張元の自主製作長編第二作目にあたる。

次回作は、昨年の東京国際映画祭における『北京バスターズ』出品に対する制裁として、当局より撮影禁止処分を受け、中断している。

## 您拿到《留學生新聞》一定會後悔!後悔自己為什麼沒早訂閱!

當您感到寂寞,需要精神食糧的時候;當您打算升學,正在尋找學校的時候;當您懷念祖國,希望了解故鄉最新動態的時候;當您計劃回國,想買到最便宜機票的時候;當您遇到困難,急需諮詢和得到幫助的時候;您只要訂閱了《留學生新聞》,她會給您以上的一切!到郵局要一張“払込通知票”;填上《留學生新聞》的口座號“東京 6-184952”;再寫明您的地址、姓名;一年訂報價 6,000 日元。詢問電話: 03-3404-5811



## 留學生新聞

日本で、最大発行部数の中国語新聞  
月2回、1日・15日  
発行、1部 300円  
購読のお問合わせ  
03-3404-5811

# 11月12日[土]—12月2日[金]独占上映!!

特別鑑賞前売券(予售票)¥1,400(税込)絶賛発売中!

【当日▶一般¥1,700(税込)/学生¥1,500(税込)のところ】

新宿駅南口・甲州街道沿い武蔵野通りゲームワールドB1

シネマアルゴ新宿

TEL.03-3350-6695

連日 11:50/1:40/3:30/5:20/7:10



■特別鑑賞券は都内プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあ、劇場窓口にてお求め下さい。